

## 1976 年度学会賞受賞作品・授賞理由

---

### ◆論文賞「道路網容量およびその道路交通計画への応用に関する基礎的研究」

西村 昂(大阪市立大学助教授 工博)

〈選考理由〉

交通計画において、道路網上を流し得る最大の交通量を表わす道路網の交通容量は、基本的に重要な指標であるにも拘らず、難しい問題となっている。筆者は本論文において、道路網の交通容量は理論的に最大フローで表わすことが可能であるとし、一定のODフローに関して理論的に研究し、実用的な近似解法を提案した。さらにその考えを容量増設、モード変換、需要抑制、最適ネットワークの問題に応用する方法を提案し、さらに建築容積計画と交通施設計画との関係を交通計画の立場から分析している。道路網の交通容量に関して、理論的に明確にするとともに、実用可能なものとし、さらに、土地利用と交通との関連について基礎的研究の段階ではあるが、よく整理して分析されていることから、体系的に優れた論文であり、都市計画に関する研究論文としても極めて価値あるものと考え、ここに論文賞として推薦するものである。

### ◆石川賞「名護市等沖縄北部都市・集落の整備計画」

象設計集団を中心とするグループ

〈選考理由〉

この計画は象設計集団を中心とするグループが、最近5年間にわたって手力做てきた沖縄北部の都市・集落の整備に関する一連の計画作業の成果である。

この計画の特徴は調査、計画、実現の3つの段階にそれぞれみられる。第1に調査については、計画立案の基礎的条件を明らかにするため、沖縄北部の歴史、風土、そして都市・集落における人々の生活や施設について一般的な調査のほかに、足で歩き、人々と語り合うことによって得られた情報を精力的に収集し、綿密に記録整理している点が評価される。

第2は地元の住民の立場に立ち、日常生活を確立する視点から計画の立案を行っている点である。すなわち上記の調査を踏まえ、沖縄の自治体や住民の日常の要求と合致し実現性のある地味な計画となっている。

第3は計画の内容の一部が次々と実現に移されている点である。

以上、この計画は都市計画への取組み方にきわめてユニークな点があり、この点が高く評価される。とかく硬直的になり勝ちな都市づくりを、よりソフトな手法を導入することによって「たしかな生活」に根ざしたものにして行こうという姿勢は、故石川栄耀博士の遺訓にも合致するものと思われるので、ここに石川賞として推薦するものである。

#### ◆論文奨励賞「住宅地における緑地空間の機能・構造に関する計画的研究」

宮本 克巳(東京大学農学部助手 農博)

〈選考理由〉

本論文は、住宅地における緑地空間の機能と構造とを住民の評価を通して密度的に考察したものである。

まず、緑地環境評価と緑地空間密度指標との相関マトリックスを作成し、満足度は、一人当り面積という絶対面積で表示された空間密度との相関の方が、土地利用率という相対的面積で表示されたものよりも高いことを証明し、また、満足率からみた緑地空間密度の表から居住者のほぼ過半数を満足させるためには、少なくとも、1人当り緑被面積 30~40m<sup>2</sup> 程度が必要であると結論している。従来、満足度を調査したり、緑被地面積の提案など種々あるが、本論文ほど論理性に優れたものは見当たらないので、ここに論文奨励賞として推薦するものである。

#### ◆設計奨励賞「豊中市庄内地区住環境整備計画の策定」

庄内地区作業グループ

〈選考理由〉

さまざまな問題を抱えている既成市街地の改善方式の確立は、現在、都市計画の緊

急の課題のひとつであり、昭和40年代後半から、過密住宅地等を中心に、各地で多くの調査・研究・計画が展開されている。「豊中市庄内地区住環境整備計画」はこれら一連の研究・計画の中で、次のような理由で評価に値する。

1. 地区の形成過程や、現在地区で展開されている住良諸階層の生活を、十分に踏まえて計画立案に望んでいること。
2. 単一の事業手法ではなく、コミュニティ施設・道路網の再編成・緑道・スポットクリアランス・建築規制など、さまざまな手法の組み合わせによる地区改善的アプローチを採っており、現在に至るまで一定の成果をみていること。
3. 住工混合地域の問題に、正面から取り組もうとしていること。
4. 住民とプラツナーの長期にわたる協力によって、住民参加の計画過程の確立を試みたこと。とくに現地協同踏査・協議会等での共同討論・「庄内再開発ニュース」の発行などの方式を開発し、結果を地区整備計画に反映させていること。

なお本計画は、計画の立案と推進を強力にバックアップした豊中市スタッフや地区再開発協議会のメンバーの努力と合わせて評価されるべきことを付記してここに設計奨励賞として推薦するものである。